

## 滋賀大学生協大津キャンパス 大学生活先取説明会

第338号



[ 新学期 ]

### 取り組み概要

日時：2024/1/20,3/14,3/28  
14:00~18:00

場所：滋賀大学大津キャンパス33講義室  
参加者数や組合員の反応：参加者185名  
(学生99名)

背景や概要：滋賀大学大津キャンパスの学生委員Willingにより、新入生とその保護者が持つ入学や大学生活への不安を軽減するために、生協や授業などの大学生活に関する説明を行っていた。

学部ならではの紹介と新入生同士での交流を

### POINT.1

### 教育学部ならではの情報を！



滋賀大学大津キャンパスは、教育学部のみという大きな特徴があります。その特徴を活かし、説明会においては生協・共済加入や授業などの基本的な説明だけでなく、実習についての説明がありました。

また、説明会会場の後方には実際に使用している教科書を展示し、その教科書を用いながら新入生に授業の説明をすることで、大学における学びのイメージをしてもらいやすいように工夫することができていました。



Willingでは、新入生のニーズをおさえた説明会を作っていくために、4月に行われている活動体験にて、「受験生だった時、入学するとき生協にやってほしかったこと・欲しかった情報」を付箋出ししています。推薦・前期・後期に分けてそれぞれが欲しかった情報、やってほしかったことを分析し、次年度の新学期活動に反映させています。ニーズを集約・分析し、次年度に反映させることによって、より満足度が高く、新入生とその保護者に寄り添った説明会を作っています。

### POINT.2

### 説明会でも新入生同士の交流を！



この大学先取説明会では、大学に関する説明を始める前にアイスブレイクをし、説明会に対する緊張を和らげ、新入生同士の接点を持たせていました。

説明会の途中には保護者と新入生で分かれ、保護者はパソコンやミールについて説明を受け、生協職員との相談会をしていました。その間、新入生はなぞ解きをしながらかんぱす内を巡る交流の時間となっていました。かんぱす内をめぐる際、学生委員が建物に関する説明を行い、ただ交流するのではなく、今後の大学生生活をイメージしやすいものになるよう工夫をしていました。



また、保護者のみの時間を作ることによって、保護者同士がお互い感じている不安について話したり、職員に相談したりする姿が見られました。保護者だからこそ感じる不安を解消する時間が作られていました。